

# 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年8月11日

上場取引所 東

上場会社名 元旦ビューティ工業株式会社  
 コード番号 5935 URL <http://www.gantan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 船木 元旦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 武末 誠一

TEL 0466-45-8771

四半期報告書提出予定日 平成27年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成28年3月期第1四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	1,889	0.7	△233	—	△229	—	△160	—
27年3月期第1四半期	1,875	0.3	△162	—	△162	—	△113	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年3月期第1四半期	△20.97	—
27年3月期第1四半期	△14.72	—

### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円銭	円銭	円銭	円銭
28年3月期第1四半期	7,125	—	2,371	—	33.3	—	309.03	—
27年3月期	7,188	—	2,577	—	35.9	—	335.99	—

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 2,371百万円 27年3月期 2,577百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	4,900	4.7	30	107.3	12	△67.0	8	38.2	1.04
通期	13,000	14.2	555	11.7	500	△0.5	300	6.9	39.10

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	7,716,063 株	27年3月期	7,716,063 株
28年3月期1Q	43,407 株	27年3月期	43,407 株
28年3月期1Q	7,672,656 株	27年3月期1Q	7,673,508 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	2
4. 四半期財務諸表 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における日本経済は、株高による資産効果で百貨店売上が増加に転じ、雇用情勢の改善、訪日外国人の増加もあって消費マインドは改善しました。しかし国内自動車販売が低迷したことなどにより、個人消費全体の改善度合いは緩やかとなりました。

また、建設業界においても住宅投資が緩やかに持ち直したことに加え、設備投資は好調な収益を背景に大企業の投資意欲が改善しましたが、中小企業は慎重な姿勢を維持しました。

このような状況のなか、当社は地球環境保全に貢献できる太陽光発電屋根や、従来の金属屋根では対応できなかったビル・マンションへの防水屋根のほか、高機能・高品質屋根の普及に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は1,889百万円(前年同期比0.7%増)となり、その内訳は製品売上高が1,190百万円(前年同期比1.3%減)、請負工事高が698百万円(前年同期比4.5%増)となりました。

損益面におきましては、営業損失は233百万円(前年同期は162百万円の損失)、経常損失は229百万円(前年同期は162百万円の損失)となりました。また、法人税等調整額を△75百万円計上したことから、四半期純損失は160百万円(前年同期は113百万円の損失)となりました。

なお、当社の売上高は建設業界固有のマーケット特性により、事業年度の後半に著しく増加する傾向にあり、当第1四半期の営業利益・経常利益及び四半期純利益はマイナスになっております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ63百万円減少し、7,125百万円となりました。その主な要因としては、売上債権の回収増加に伴い売掛金および受取手形が234百万円、完成工事未収入金が431百万円それぞれ減少したこと、一方で生産・仕入の増加に伴い、製品が94百万円、原材料が164百万円、未成工事支出金が211百万円、それぞれ増加したことなどによるものです。

負債合計は前事業年度末に比べ143百万円増加し、4,754百万円となりました。その主な要因は、仕入債務の決済増に伴い支払手形および買掛金が291百万円減少し、一方で短期借入金および1年内返済予定の長期借入金が248百万円、長期借入金が214百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

純資産合計は、四半期純損失の計上及び配当金の支払いにより、前事業年度末に比べ206百万円減少して2,371百万円となり、自己資本比率は33.3%になりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の業績は概ね予定通りに進捗しており、平成28年3月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成27年5月15日付「平成27年3月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」で公表いたしました業績予想に変更はございません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	584,951	537,722
受取手形及び売掛金	1,277,547	1,043,119
完成工事未収入金	873,789	442,044
製品	540,917	635,422
仕掛品	4,143	5,902
未成工事支出金	232,649	444,004
原材料	586,713	751,260
その他	238,515	380,101
貸倒引当金	△1,155	△807
流動資産合計	4,338,103	4,238,770
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	523,411	516,362
機械及び装置(純額)	172,274	228,460
土地	1,569,869	1,569,869
その他(純額)	132,539	94,746
有形固定資産合計	2,398,095	2,409,439
無形固定資産	51,577	51,020
投資その他の資産		
その他	545,619	570,268
貸倒引当金	△144,419	△144,101
投資その他の資産合計	401,200	426,167
固定資産合計	2,850,873	2,886,627
資産合計	7,188,976	7,125,398
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,356,997	2,065,864
工事未払金	260,093	211,913
短期借入金	383,630	631,680
1年内償還予定の社債	35,000	35,000
未払法人税等	96,764	9,052
製品保証引当金	25,056	25,078
その他	399,111	489,474
流動負債合計	3,556,653	3,468,062
固定負債		
社債	40,000	40,000
長期借入金	573,310	787,590
退職給付引当金	407,317	417,215
その他	33,714	41,390
固定負債合計	1,054,342	1,286,196
負債合計	4,610,996	4,754,258

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,266,921	1,266,921
利益剰余金	1,259,770	1,037,484
自己株式	△16,614	△16,614
株主資本合計	2,510,077	2,287,790
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	67,902	83,348
評価・換算差額等合計	67,902	83,348
純資産合計	2,577,980	2,371,139
負債純資産合計	7,188,976	7,125,398

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	1,875,570	1,889,259
売上原価	1,347,944	1,405,495
売上総利益	527,625	483,763
販売費及び一般管理費	690,037	717,277
営業損失(△)	△162,412	△233,513
営業外収益		
受取配当金	4,527	4,531
受取賃貸料	3,780	4,593
その他	6,382	10,373
営業外収益合計	14,690	19,498
営業外費用		
支払利息	4,159	3,367
手形売却損	4,404	4,170
その他	5,929	7,970
営業外費用合計	14,493	15,508
経常損失(△)	△162,215	△229,523
特別損失		
貸倒引当金繰入額	400	195
特別損失合計	400	195
税引前四半期純損失(△)	△162,615	△229,718
法人税、住民税及び事業税	6,746	6,527
法人税等調整額	△56,357	△75,340
法人税等合計	△49,611	△68,812
四半期純損失(△)	△113,003	△160,905

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

当社は、金属屋根事業、ならびにこれらの付帯業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。